

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 検修・構内業務外注化は破たん 「出向・ジョブで穴埋め」許されない

検修・構内業務の外注化は完全に破綻しています。検修・構内業務のために採用したCTS（JR千葉鉄道サービス）が採用したCTPS社員58人のうち19人が次々に退職し、昨秋からでも5人の退職者が出ています。

### 何十日もの休勤が毎月発生

その結果、幕張事業所では毎月、勤務指定時に何十日と休日勤務が発生しています。休勤は12月が36日、1月が55日、2月が54日、3月が29日という現状です。

それだけではありません。技術継承に関しても、例えば転削業務の担当はほとんどが採用から1〜2年の労働者です。これでは安全を守るための技術も継承されなくなってしまうます。



現状の要員はCTPSプロパー社員50人に対して、JRからの若年出向者・エルダー出向者が100人という割合です。今後、エルダー出向者が65歳を迎えて次々に退職が始まります。そうすれば、

要員確保はますます困難になります。このままでは業務を回すことができなくなります。

外注化はそこまで鉄道業務を破壊してしまっているのです。現状では、定年延長と希望者の70歳までの継続雇用が現実的な対応策です。改正高年齢者雇用安定法は、70歳までの雇用確保を努力義務にしています。

### ただちにジョブ・外注化の撤回を

団体交渉において会社は、プロパー社員の養成が間に合わないことを認めざるを得ませんでした。しかし、動労千葉が希望者の雇用延長を要求したことには応じずに、JRからCTSに出向させることで要員の穴埋めをしようと狙っています。

千葉支社の2月のジョブローテーションでは、異動になったほとんどの乗務員が駅に強制配転されました。「ジョブで検修・構内業務外注化の矛盾の穴埋めをする」という攻撃のエスカレーションを許すわけにはいきません。

\*

会社の攻撃を止めるのは現場からの反対の声と闘いです。会社も破たんし追い立てられ、何か展望を持って推進しているわけではありません。職場からジョブローテーション、業務外注化反対の声をあげよう。